



## Focus

## CLASSROOM REPORT 教室レポート



## 子供達って夏の暑さより熱い!!

マナ口 恭子 (TK担当)

アツイですね!!! いえ、「暑い…」(汗)ではなく、「熱い! 9(9)@>v<@)6)のですよ! 私は教室の移動だけでヘトヘトなのに、子供達は汗をかきながらも元気いっぱい「Hello~!!」と言いながら笑顔でやって来ます。そして、英語のレッスンに来ているのに、子供達はお構いなしにバリバリの大阪弁で外国人の先生に話しかけていきます。レッスンは始まれば、もう熱すぎる!! フォニックスの練習は、軍隊の発声練習の様。3階の教室から外まで丸聞こえで、通りすがりの人達は何か! と思っていることでしょう。とにかくカイチの子供達は365日熱い!!

さて今回は、私、マナ口が通う様々な教室の子供達の熱い様子をお伝えしたいと思います。



▲シルバー先生が言った体の名前を誰が一番タッチできるか! 皆必死でheadのときは、頭が割れるかと思うくらい力がすごい。(関目教室)

まずは、関目教室トキキッズ。ピギナークラスはどここの教室よりも熱い! でも思い返すと、おとなしい子や、教室にお母さんと一緒じゃないと入れなかった子、恥ずかしがりやさん達が多かったと思います。ところがシルバー先生のマジックで皆の英語に対する気持ちが熱くなってきました。「テキストどのページ?」と後れをとっている子を、いつでもさっと助ける小2のYちゃん。そして「Thank you」「You're welcome」と、生徒同士のとっさの会話に感激! 予習、復習がばっちり小1のMちゃんは、英語の歌がとても上手で最年少なのに、クラスの皆をひっぱってくれているリーダー的存在。小3Kちゃんは、学校や家で勉強してきた英語を、「こんなことが英語で言えるようになったよ」と言いに来てくれます。このように、英語に対する気持ちが熱く、元気いっぱいの関目ピギナークラスにやってくる体験生は、圧倒されてしまいますが、

大丈夫ですよ。あなた達も2~3か月もすれば、こんな感じになります。心配しないで。

さて、今津教室の木曜日クラスはまだまだ人数が少ないです。皆さん!! 今のうちですよ! 少人数で英語を勉強できます! 今津生の小2のWちゃんは、体験の時もその後も全然しゃべらなかつた…。それでもトキキッズに来ると言ってくれたことに感激! 今ではケラケラ笑いながら英語もしゃべるようになって、5級の単語テストもがんばっています。

動物の絵を描いて  
あてるゲーム▶



◀R画伯の力作! 何の絵でしょう! (今津教室)

今福教室は、英検4級クラスの生徒が熱いですね。5級を必死で頑張ってきた子達なので、4級の文法を習得するのが早い! もう先生いらないんじゃない?? と思うほどです。皆が問題を解いているうちに板書の書き換えをしますが、皆が問題を解き終わる方が早い…。ごめんね、遅くて。

さて、高殿教室はパスカルキッズです。高殿で熱い生徒は、もちろん小2M君。1時間目にトキキッズを終えて、2時間目にパスカルキッズへノリノリでやってきますが、「thank you」「I finished.」など、パスカルキッズでも何かと知っている英語を話そうとしています。習ってきた英語を、使える場面で使ってみるといって高度な技を使っている小2のM君。英語がペラペラになっている未来の姿がもう見えています!

最後は、上本町の万緑会。小1前から来ている現在小3のMちゃんは、見た目難しそうな問題が苦手。考える前から、「無理。わかりません。」と言う子でしたが、小3になってからは、難しい問題でも、どのような順序で解いていけばいいのか見通しを立てて考えられるようになり、

難問を解く力がついてきました。でも、私とは大の仲良しなので、時々甘えて「これで合ってる?」「ここはかけ算すればいいの?」と問題の途中で聞いてくることがあります。そういうときは、「間違ってもいいから、最後まで一人でやってみて」と突き放しますが、「先生、私のこと嫌いなんだな」と思わないでね。(自分の子供にこれをしたら、「ママ、私のこと嫌いなんでしょ。」と言われる。)間違ってもいいから、とにかく一人で最後まで考え抜いて欲しい。大事なのは正解の答えを書くことではなく、自分の力で考え抜いたことだよーと、子供達には伝えているのだけど、本当に分かってくれているかなあ。

そして万緑会では毎回、名文の音読をしています。子供達は意外と読むのが好き。漢文や、古文なども読んでいます。「私は、枕草子が好き」とか、「僕、『竹』をもっと読みたい!」などと言って楽しんでくれています。今年の夏期講習の読み物は「伝記」。自分達でどの人物の物語を読むか決めてもらいます。意外と多かったのが、「豊田喜一郎」。トヨタ自動車を作った人です。英語学童REDWOODKidsに通っているR君は、もちろん『ジョン万次郎』! 伝記の本は漫画になっているのが多いですが、『やさしく読めるビジュアル伝記』というシリーズは、低学年でも読みやすい大きい字で、挿絵もかわいいので、ぜひ、皆さんもお子さんと一緒に気になる人物を見つけて読んでみてください。

夏は子供達が身体も脳も大きく成長する時です。コロナ禍ですが、できる範囲で子供達がたくさん経験を今年もできるように、皆でサポートしていきたいと思います。



◀今月の百人一首を確認するMちゃんとAちゃん。(万緑会)

## Education

## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



## この夏を、成長の夏に。

小幡 翔太郎 (関目教室)

皆さんこんにちは。私は今、オリンピックの女子ソフトボール予選リーグを見た後でこの記事を書いています。カナダとの接戦をものにし、決勝進出を決めました。代表選手の顔つきを見ると、自信に満ち溢れているのを感じます。「日々のトレーニングをしっかりと行い、緊張するであろう本番でその実力を発揮する。」言葉では簡単ですが、それを実行し、国を背負って競技に臨む選手の皆さんは、本当に素晴らしいと思います。※記事訂正中に、優勝が決まりました! すごい~~~~!!

これはアスリートに限った話ではなく、カイチに通っている皆さんにも共通しています。日本に住む限り、皆さんには「受験」という大勝負が待っています。その大勝負の日を「自分は一生懸命やることやってきた! だから大丈夫!」という自信をもって迎えられるよう、この夏の過ごし方をお伝えできればと思います。



▲夏期講習中の一コマ。先生も気合が入ってます!

【パスカルキッズ・珠算・トキキッズ】

楽しく通ってください! (笑)…というのは半分冗談で、夏期だからと言って特別なことをするのは、日々の授業・宿題にしっかりと取り組んでください。これはカイチの全ての部門に共通することですが、「きちんとした所作で学習に取り組むこと」は、人生を通して非常に重要になります。テキストを解くときは利き手と反対の手もきちんと出す、イスには深く腰掛け、正しい姿勢で勉強に取り組みましょう。また、正しい習慣をつけることも大切です。宿題・練習をする時間を一日の中で決めておき、毎日その時間に行うようにしましょう。また、保護者の方で「お家での復習や練習の際に、どういう声掛けをしてあげればいいのか?」等、相談事があ

る場合は、お気軽に担当の先生にお声がけください!

【小学部】

講習会内では算数の復習・国語の問題演習に取り組んでいます。特に算数は、習った知識の上に新しい知識がのっかってくる教科です。ある箇所ですと、他の単元や、次の学年が上がったときにも「去年の〇〇がわからないから、この問題も解けない」という事態に陥ります。そうならないためにも、苦手を発見したら先生に質問してしっかりと克服し、「ここまでの箇所ですと、苦手なところは何もない!」という状態で2学期を迎えられるようにしましょう。

【中1・中2】

講習会後半では、国語の読解演習、英語・数学の復習がメインになってきます。小学部と同じく、数学・英語は積み重ねの教科です。この機会を最大限に活用し、1学期までの内容の定着を図るとともに、2学期に好ダッシュを切れるよう頑張りましょう。また、模試では理科・社会も含めた5教科のテストになりますので、理科・社会で苦手がある人は、テスト範囲の教科書を見直したり、作問で弱点をつぶしたりして、対策を講じておきましょう。



【中3】

勝負の夏です。さまざまな場面で聞いているとは思いますが、9月以降は怒涛のテストラッシュです。特に9月~11月に集中する学校の実力テスト・五ツ木模試は受験校決定にあたり非常に重要です。ここで結果を残すために、勉強に取り組む際に心がけておいてほしいことをお伝えします。

①目標を立て、手段に落とし込む

1学期までの成績から推測される自分の内

申点から、志望校合格のために必要な偏差値を割り出し、自分の目標偏差値とします(受験勉強進捗チェックシートに、目標偏差値を書いておきましょう)。目標と現状の差が大きい教科は「どの単元を優先して学習するか」を決め、優先して取り組みましょう。この際に、自分では上手くスケジュールを立てられない人は、担当の先生に相談してください。

②目的意識を持つ

夏期中の中3生は、「塾の授業」「塾の宿題・やり切り課題」「学校の宿題」に日々追われていると思います。忙しい日々の中で「ここちょっとわからんけど、これくらいいいかな」「ほんまはここまでするつもりだったけど、今日はこのくらいいいか」と、妥協しがちになっていませんか? その妥協の一つ一つが、自信のない、弱い自分を作り上げてしまいます。授業に参加する、宿題をする、課題プリント等をする時には、「何のためにするのか」を胸に刻み、目的意識をもって行いましょう。例えば理科の単元別プリントは「基礎事項を徹底理解し、一問一答形式の問題を確実に正答できるようになるように作成されています(というか、そう作りました!)。しかし、計算問題を「とりあえず丸暗記して終わり」や「記述問題で、書いてることよくわからんけどとりあえず暗記」「記号問題で、記号を暗記」…等々、してしまっていないですか? 受験勉強は、入試当日に入試問題に対応できる実をつけることが目的です。単元別プリントは、あくまでその手段。「宿題を終わらせる」「プリントを先生に出す」ことが目的にならないよう、常に心にとどめておいてください。

③決めたら、やりきる!

すべきことを決め、どのように取り組むかの心構えができれば、あとはやり切るのみです! 特に中3生は、必要とされる勉強時間も長く、楽しいこと・ラクなことに心が流されそうになることもあるかもしれませんが(気持ちはすごくわかります…)が、そんな時こそ、目標を思い出して、口にしてみてください。「〇〇高校に行くぞ!」「夏のVもして偏差値〇〇とるぞ!」と自分を奮い立たせ、夏期講習を乗り切ってください。きっと9月には、一回りも二回りも成長した自分がいるはずですよ。